

業務部速報



No. 108

発行 23. 4. 15

JR東労組 業務部

4月14日交渉

申8号 「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」に関する検証申し入れ 第2回団体交渉を行う! ②

<p>6項 JR本体の検修社員の技術力維持・向上を図り、技術継承および異常時に臨機応変に対応できる体制とするため、JR本体に一定のフィールドを確保すること。 ●:組合 ■:会社</p>	
<p>●機能保全・機動班・(ホーム検査がメインとなる)駅派出は本体に残すべきである。</p> <p>●<u>機能保全や機動班は一定のフィールドとして確保するのか。</u></p>	<p>■規定管理・品質保証・計画・保全体系策定は直営でやるべきものである。</p> <p>■当社の取り巻く環境、技術革新は進んでいるので都度考え方は変わる。(委託当時と比べて) <u>現時点では考え方は変わらない。</u> 非現業も「フィールド」として捉えている。</p>
<p>●特に機動班の仕事では、臨機応変に対応するものである。車両修繕の勤所は、一朝一夕には身に付かない。フィールドを経験することは重要である。</p> <p>●故障調査→故障復旧→対策立案を一体で行うことが重要。そのためにも本体でフィールドを持つことが必要だ。</p>	<p>■それがベターではある。昔は現場経験10年で1人前とも言われたが、現在では(長期の経験は)難しい。動画など様々なツールも活用して技術習得していく。</p> <p>■「判断力」をつけられるよう取り組む。</p>
<p>●議事録確認で「機動班業務の中で仕業検査について現車を使用し、経験する機会を作ることを考えている」とあるが、車セで仕業検査教育が出来ていない。</p> <p>●仕業検査では線区毎の不具合の特情が出やすく、それを学ぶことで車両をトータルに把握できる。機能保全→機動班→仕業→技管と一連の流れの経験が大切。</p> <p>●現場で仕業検査の教育を要望し、現場で必要と判断した場合、教育することは吝かではないという事か。</p>	<p>■仕業検査教育は必須項目ではないが、整備標準を網羅すれば良い。</p> <p>■不具合については、品質保証の観点で把握すべきものとする。</p> <p>■そうだ。</p>
<p>●機動班の出面が業務研究やイベント等で少数となり、出区に間に合わせる為に急ぎの作業となり、技術継承できない。</p>	<p>■管理者が業務量を判断した上でイベント対応等をしてもらっている。出区時間までに出すことは大事にしたい。</p>
<p>●様々な業務を通じて技術力を磨く・向上させることはまだまだ課題がある。様々な発生している課題は、本社としても受け止めていただきたい。</p>	<p>■受け止める。</p>

JR 本体に一定のフィールドを確保する考え方は変わらないことを確認!

<p>7項 今後の総合車両センターおよび車両センターの業務体制について、「変革2027」や「ミライの車両サービス&エンジニアリング構創」に向けた今後の課題とJR本体およびグループ会社の将来像を明らかにし、「安全・健康・ゆとり」の確保を前提に魅力ある車両メンテナンス職場を構築すること。</p>	
<p>●S&E 構創から3年以上経過している。何を指し、職場がどのように変化をするのか。</p>	<p>■S&E 発表後にコロナ禍となり経営が厳しくなった。目指す姿は変わらないがスケジュール通りの設備投資は厳しい。スケジュール感が課題であり、遅れるのはやむを得ない。</p>
<p>●夏場の機能保全でのパン点検は 40℃超、冬は 0℃以下になる環境で業務している。S&E で環境改善への希望も持てた。検討している事柄は提示いただきたい。</p>	<p>■発表から4年経過し変化もしてきている。タイミングを見て示していく。</p>
<p>●「車両関係社員のキャリアパスについて」が発表されたが、メンテナンス近代化構想Ⅲ期からどこが変更になるのか。</p>	<p>■基本的な方向性は変えておらず、延長線上である。将来を描きやすいように記載した。</p>
<p>●異動が増えると想定されるが、すでに希望を踏まえない異動や勤務変更が行われ、技術力が身に付かない。</p> <p>●<u>職場にとって痛手のタイミングでの異動もある。配慮していただきたい。</u></p>	<p>■色々な職場を経験することで、希望ではないこともあるが成長すると考える。</p> <p>■このタイミングで異動かということも分かる。それ以上に人材育成も大事である。<u>述べられている要素も大事である。</u></p>

「さらなる推進」の実施から10年! 職場の声をもとに創り出した検証交渉を一つの節目にして、安全・技術レベルと、労働条件・環境の向上をめざし、さらに検証を強化しよう!